

ふくい社会福祉

2017
7
No.425

Fukui Social Welfare



第58回福井県保育研究大会の様子(平成29年6月4日(日) 鯖江市文化センター他)

CONTENTS

2,3P 特集 社会福祉法人が連携して地域に貢献する仕組み

4P 助成金交付団体の決定
まごころ基金・アクティブアクション助成

5P 社協TOPICS
◆介護事業所・人材マネジメントセミナー

6P ◆つなぐボランティアの輪推進運動

7P ◆寄付・寄贈
◆介護出前講座
◆施設職員向け「個人力・チーム力向上研修」

8P サキドリ情報

別紙 平成28年度事業・決算報告・新役員紹介

社会福祉法人が連携して地域に貢献する仕組み

福井県内の社会福祉法人が種別・規模を越え連携し、地域貢献する取組みの実現へ

社会福祉法人制度改革の一環として、社会福祉法人には「地域における公益的な取組み」が責務化されました。その取組内容の選択・手法は各法人個々に委ねられています。しかし、「何を、どう進めればいいのか」といった声も多く聞かれる中、県内の社会福祉法人が連携し実施する取組みを紹介します。

「地域における公益的な取組み」の責務化

営利法人等の多様な事業主体が福祉サービスに参入する今日、税制等で様々な優遇措置を受ける「社会福祉法人」には、それらとの違いが強く問われています。

また、以前から「既存の制度では対応できない人々を支える」ことを本旨とする社会福祉法人としての取組みが、広く一般に知られていないという現状もあります。

一方、昨今人々の暮らしを支えてきた地域の相互扶助、家族同士の助け合い等といった関係性の希薄化は、地域社会に様々な課題をもたらしています。そしてこれらの課題はそれぞれに絡み合い、複雑化することで解決を困難にしており、既存の制度では十分に対応できないケースも増えています。

これらを踏まえ、社会福祉法人の今日的な意義として、これまで同様「①社会福祉事業にかかる福祉サービスの供

給確保の中心的な役割を果たす」とともに、あらためて「②他の事業主体では対応できない様々な福祉ニーズを充足することにより、地域社会に貢献していくことにある」とされ、社会福祉法人「地域における公益的な取組み」が規定されました。

地域における公益的な取組みの要件

【対象者】 日常生活又は社会生活上の支援を必要とする者

【実施内容】 無料又は低額な料金で、福祉サービスを積極的に提供

「社会福祉法人は、社会福祉事業及び第26条第1項に規定する公益事業を行うに当たっては、日常生活又は社会生活上の支援を必要とする者に対して、無料又は低額な料金で、福祉サービスを積極的に提供するよう努めなければならない。」

（社会福祉法第24条第2項）

法人連携の提案

この取組みの責務は、すべての社会福祉法人に課せられ、事業の種別や人員配置、財務規模等の法人個々の事情により区別されるものではありません。

しかしながら、法人によっては、この人員配置や財政上の事情から、積極的な活動に取組むことが困難な場合も少なくありません。

このため、この責務を社会福祉法人としてしっかりと果たしていく「一つの手段」として複数の法人が連携し、共通の事業テーマを設定し、実現しようとする本県における取組みが「福井県内社会福祉法人連携推進事業」です。

複数法人における公益的取組み（全国の実況）

既に取組中	25都府県
準備中	22道県（※福井県）
予定なし	0

（平成28年度末時点）

「社会福祉法人が連携」して取組むメリット

社会福祉法人が連携して取組むことには次のようなメリットが考えられます。

① 支援力強化

多様な種別の法人が集まることで、多分野の専門知識・ノウハウの共有、サービスの組合せにより、「支援力」を高めることができるほか、新たな支援の創造が期待できる。

② 事業の安定、継続

法人の規模は大小様々であるが、連携により安定的に継続した事業展開が期待できる。

③ 法人の見える（見せる）化

「社会福祉法人とは何か」が知られて（認められて）おらず、批判されてきたが、県内全域で同時に同じことに取組むことで、法人の存在やその意義を示すことができる。

（県民にPR）

地域貢献の協議会を設立し、 「生活困難者に対する 相談支援事業」に取り組む

社会福祉法人が連携して取り組む内容については、県内各種の福祉サービス提供団体（7団体）の代表者が一堂に会して検討を重ねた結果、法規定および社会福祉法人の主旨に照らし、また、今日的な地域の課題、福祉ニーズを対応するため、「生活困難者に対する相談支援事業」に取り組むこととなりました。

また、この事業を推進する仕組み（体制）については、新たに「福井県内社会福祉法人連携事業推進協議会（名称予定）」を設立し、趣旨に賛同し加入する法人との連携により取り組みを進めていくこととされました。（現在設立準備中）

ただ今、加入法人募集中！

「福井県内社会福祉法人連携事業推進協議会」の設立に向け、現在、加入法人を募集しており、多くの問い合わせがあります。それぞれの法人におかれまして、加入について積極的にご検討ください。

加入申込み・問合せ先

●福井県内社会福祉法人連携事業推進協議会
設立準備事務局
総務施設課 施設サービスグループ内
0776-241-2347

生活困難者に対する相談支援事業【概要】



総合生活相談事業

様々な生活課題を抱える方に対し、会員法人のCSWが相談に対応します。



コミュニティ
ソーシャルワーカー
(CSW)とは

地域に根ざした支援活動を発見して、支援が必要な人に結びつけたり、新たなサービスを開発したり、公的な制度との関係を調整するソーシャルワーカーです。

日常(社会)生活を営むことが困難な人

本人・家族
民生委員
近隣住民等

相談

- ・生活等応相談
- ・経済的支援
(必要に応じ)
※現物給付に限る

社会福祉法人(会員)

- ※事業種別・規模問わず
- ※充実残額有無問わず

情報提供
(つなぐ)

経済的援助

他制度によることが困難な緊急避難的な支援として10万円を限度とした経済的援助(現物給付)を行います。

関係機関・団体等

- 生活困窮者自立支援相談窓口(行政等)
- 地域包括支援センター
- 障害者相談支援事業所
- その他、福祉施設・事業所等

(※)基本的な実施内容であり、会員の増大や地域のニーズ等に即して内容等を追加することもあります。

実施体制

法人A
※5施設経営

法人B
※1施設経営

法人C
※10施設経営

法人D
※2施設経営

福井県内社会福祉法人連携事業推進協議会
(事務局：福井県社会福祉協議会内に設置予定)

ニーズに即した多様なサービス創造
他事業主体との違いの明確化
県民へのPRを通じた認知度向上
参加法人を広く国民に公表等

- 事業対象：県内に法人本部を置く全ての社会福祉法人
- 事業区域：県内全域(ただし、実際の支援は基本的に市町域)
- 実施方法：参加法人で構成する本事業のための組織を創設
- 支援実施者：参加する社会福祉法人個々

参加方法

- ✓入会申込書を提出
※本事業への参加により、これ以外の地域貢献事業を制限するものではありません。
- ✓会費を拠出
※会費は前年度決算に基づき毎年納付いただきます。
- ✓一定の研修を修了した相談員を配置
※本事業による相談員となる方には特別な資格等は必要ありませんが、本協議会が行う一定の研修を受講していただきます(2、3日程)。

平成29年度(第27回) 福井県まごころ基金助成事業助成団体が決定

「福井県まごころ基金助成事業」は、県内の地域福祉を推進することを目的に、さまざまな社会福祉事業や活動に対して助成を行うもので、平成3年以来、延べ915団体に対して、総額1億6千5百万円を超える助成を行ってきました。今年度は、重点的取り組みに位置づけた子どもの居場所づくり支援など、22団体に合計325万円の助成が決定しました。

平成29年度(第27回) 福井県まごころ基金助成事業助成団体

区 分	No	申込団体名	事 業 名
(1) 児童福祉の 推進を目的と する事業	1	ゆるい食堂実行委員会	地域共生食卓開催事業
	2	特定非営利活動法人 塩屋	子ども食堂運営事業
	3	にじいろすくく	夏の森のようちえん～子どもたちの感性を育む自然とのふれあい広場～開催事業
	4	ママサークル つぼみ	親子リトミック教室開催事業
	5	図書ボランティアの会	「絵本を楽しむ会」開催事業
(2) 高齢者福祉の 推進を目的と する事業	6	新江守中ボランティアグループ	高齢者の通所施設訪問事業
	7	デイケア家族会 たけのこ会	若年性認知症講演会開催事業
	8	特定非営利活動法人 和が家	「食べる支援を考える」講演会開催事業
	9	福祉ボランティア 劇団たからぶね	「地域で暮らす認知症高齢者の理解普及事業～認知症疑似体験をしてみよう～」開催事業
	10	昭和さわやかクラブ卓球バレー同好会	「卓球バレー富山県大会」参加事業
(3) 障がい者福祉 の推進を目的 とする事業	11	福井県難病患者団体連絡協議会	難病の患者会を広く県民に理解啓発促進事業
	12	あいじつ	「第8回 地域で学ぶインクルーシブ教育(共生教育)もあるよ! そんな集い」開催事業
	13	福祉事業後援会	設立15周年記念福祉講演会開催事業
	14	特定非営利活動法人 心の健康相談室こだちのもり	心の問題を抱えた人が、心を回復し社会へ参加していくために必要なプロセスの理解・啓蒙事業
	15	特定非営利活動法人 福井県中途失聴・難聴者協会	「中途失聴・難聴者のための音声認識活用講座」開催事業
	16	春江町総合型地域スポーツクラブ UNITIVE291設立準備委員会	「第1回チエササッカー交流大会」開催事業
	17	ボランティアサークル・ウィン	「心の杜に木を植えるみんなの居場所」開催事業
	18	三国町心身障害児(者)福祉協会	障がい者社会体験促進事業
	19	特定非営利活動法人 ハートオブマインド	障がい者の生活や就労支援の環境改善に資して、賃金アップを目指す設備投資事業
(4) 「地域住民のつ ながり」や「福祉 のまちづくり」 の推進を目的と する事業	20	春日野町内会・セーフティネットワークとねき沢	「まちづくり・人づくり・春日野結ぶづくり」事業
	21	福井市ボランティア連絡協議会	ドキュメンタリー映画「四つの空 いのちにありがとう」～震災支援チャリティーコンサート2017開催事業
	22	焼畑でそばづくり交流会	そばづくりを通じた地域文化伝承・地域活性化事業

平成29年度 アクティブアクション助成事業助成団体が決定!!

「アクティブアクション助成事業」は、高齢者の生きがいと健康づくりを推進するため、シニア世代の方々による生きがい・健康づくりや地域の課題に対する活動に対し、グループ設立とその活動にかかる経費を助成するもので、平成26年からの3年間で17団体に総額285万円を助成しています。

今年度は「高齢者の生きがい健康づくり活動を通じて認知症予防や生活習慣病予防を図るもの」「地域の文化を再確認し次世代に引き継ぐもの」「若い世代と交流し地域の活性化を図るもの」などの事業を実施する10団体に、合計100万円の助成が決定しました。

平成29年度アクティブアクション助成事業助成団体

No	申込団体名	事 業 名
1	共美成会	社交ダンス&共美成会事業
2	緑苑グラウンドゴルフ愛好会	グラウンドゴルフと地域活動事業
3	熟年男性の健康体操教室の会	熟年男性の健康体操教室実施事業
4	なつめ小町17(いーな)	なつめ小町の地域活性化事業
5	ほっとルームあすわ	子ども食堂実施事業
6	千寿の森やる気シスターズ	千寿の森地域福祉活動事業
7	ハマジュ deくらぶ	ゲームや体操で脳と体の活性化事業
8	オレンジカフェ運営協議会	オレンジカフェ運営事業
9	ガッツ上月	イベントで地域交流事業
10	木曜お堀の会	福井城址の清掃活動・朗読・語り部活動事業

「働きたい職場」、「働きがいがある職場」、「働きやすい職場」、「働き続けられる職場」への第一歩／

平成29年度 介護事業所・人材マネジメントセミナー

労働環境や処遇の改善、人材育成や人材活用について学び、経営基盤の強化を図ります。

**参加者募集
参加無料！**

人手不足と高齢者活用、 その賃金決定の方法

講師：渡辺 正彦 氏(社会保険労務士)

10/11水 ③敦賀市 プラザ萬象 第2会議室

定着に向けた人間関係の良い 組織風土づくりと評価制度のあり方

講師：國久 弘敏 氏(社会保険労務士)

10/19木 ②鯖江市健康福祉センター 2F大会議室

H302/21水 ③敦賀市 プラザ萬象 第2会議室

今後求められる雇用管理問題と 働きがいのある職場づくり

講師：中村 和彦 氏(社会保険労務士)

7/12水 ①福井県社会福祉センター 2F身障第2研修室

12/21木 ③敦賀市 プラザ萬象 第2会議室

H301/18木 ②鯖江市健康福祉センター 2F大会議室

労務トラブルから学ぶ労務管理 の実践講座

講師：村上 千夏子 氏(社会保険労務士)

9/13水 ①福井県社会福祉センター 2F身障第2研修室

9/21木 ③敦賀市 プラザ萬象 第2会議室

介護事業所における人材育成と 離職防止

講師：中野 和信 氏(社会保険労務士)

11/16木 ②鯖江市健康福祉センター 2F大会議室

H302/15木 ①福井県社会福祉センター 2F身障第2研修室

中小企業の経営課題と 介護事業経営のポイント

講師：出倉 裕 氏(中小企業診断士)

8/17木 ②鯖江市健康福祉センター 2F大会議室

12/13水 ①福井県社会福祉センター 2F身障第2研修室

介護事業所の会計と経営分析

講師：重森 宣彦 氏(税理士)

7/20木 ②鯖江市健康福祉センター 2F大会議室

11/22水 ①福井県社会福祉センター 2F身障第2研修室

新キャリアパスに求められる 要件とこれからの人材戦略

講師：青垣 智則 氏(社会保険労務士)

8/23水 ③敦賀市 プラザ萬象 第2会議室

H301/24水 ①福井県社会福祉センター 2F身障第2研修室

会場

- ①福井県社会福祉センター 2F身障第2研修室(福井市光陽2-3-22)
- ②鯖江市健康福祉センター 2F大会議室(鯖江市水落町2-30-1)
- ③敦賀市 プラザ萬象 第2会議室(敦賀市東洋町1-1)

セミナー日程(共通)

13:00	13:30	15:30	16:30
受付	セミナー(120分)	個別相談(60分)	終了

参加定員

各会場30名

参加申込

福井県社協ホームページ <http://www.f-shakyo.or.jp/> のトピックス『介護事業所・人材マネジメントセミナー』から申込書をダウンロードし、開催日の5日前までにFAXしてください。

高者活用のための環境整備研修 ～高齢者が活躍できる職場づくり～

- 講師：青垣 智則 氏(社会保険労務士)
- 内容：労働条件等の設定、各種保険制度の加入諸規程の整備、研修の実施
- 日時：7月31日(月) 14:00～15:30
- 会場：サンドーム福井 管理会議棟 2F 201・202会議室(福井県越前市瓜生町5-1-1)
- 参加申込：福井県社協ホームページから申込書をダウンロードし、7月21日までにFAXしてください。

**参加者募集
参加無料！**

《申込み・問合せ先》

人材研修課
人材グループ

TEL(0776)21-2294

FAX(0776)24-4187

Email:manp@f-shakyo.or.jp

推進運動
スローガンつながれ！80万人のボランティアの輪
～県民をつなぐ「おかげさま」と「お互いさま」の輪～

福井県ボランティアセンターでは、本県におけるボランティア活動の一層の推進と、県民の皆さんが、ボランティア活動を通じて「つながり」や支え合う社会の「価値」や「豊かさ」を実感できるよう、「『つながれボランティアの輪』推進運動」を実施します。

サマーボランティア体験 2017

豊富な活動メニューの中から興味・関心のあるボランティア活動を選んで体験することができます。

期 間 7月21日(金)～9月29日(金)

対象者 小学生高学年以上でボランティア活動に関心のある方

申込先 お住まいの市町社会福祉協議会ボランティアセンター



啓発活動

ポスターやチラシを配布したり、県社会福祉センターに懸垂幕を掲示して啓発活動を行っています。



ボランティア作文コンクール

- テーマ**
- ① ボランティア活動の経験から得たこと・感じたこと
 - ② ボランティアについての自分の思い・考えていること

児童・生徒をはじめ広く県民から、ボランティアに関する作文を募集しますので、ふるってご応募ください。

優秀な作品は、10月28日(土)に福井県生活学習館での表彰のほかホームページでも紹介させていただきます。

福井しあわせ元気大会
運営ボランティア

10月から運営ボランティアとして活動するための研修会が実施されます。

まだまだ運営ボランティアを募集中！一緒に活動し福井県を盛り上げませんか？

県内社協ボランティアセンターも協力し、障害のある方への接し方や車椅子・ガイドヘルプ体験を行います。

詳細は、ポスターやチラシ、福井県ボランティアセンターのホームページをご覧ください。
【福井県ボランティアセンター】☎0776-24-4987 HP: <http://volunt.f-shakyo.or.jp/>



日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償！！

平成29年度

ボランティア活動保険

全国200万人
加入！！

保険金額		プラン	Aプラン	Bプラン
ケガの補償	死亡保険金		1,320万円	1,800万円
	後遺障害保険金		1,320万円 (限度額)	1,800万円 (限度額)
	入院保険金日額		6,500円	10,000円
	手術 保険金	入院中の手術	65,000円	100,000円
		外来の手術	32,500円	50,000円
	通院保険金日額		4,000円	6,000円
	特定感染症の補償		上記後遺障害、入院、通院の 各補償金額(保険金額)に同じ	
賠償責任	葬祭費用保険金 (特定感染症)		300万円(限度額)	
	賠償責任保険金 (対人・対物共通)		5億円(限度額)	

年間保険料 (1名あたり)		プラン	Aプラン	Bプラン
タイプ	基本タイプ		350円	510円
	天災タイプ※ (基本タイプ+地震・噴火・津波)		500円	710円

<http://www.fukushihoken.co.jp>

ふくしの保険

検索

(※)天災タイプでは、天災(地震、噴火または津波)に起因する被保険者自身のケガを補償しますが(天災危険担保特約条項)、賠償責任の補償については、天災に起因する場合は対象になりません。

保険金をお支払いする主な例



ボランティア行事用保険

(傷害保険、国内旅行傷害保険特約傷害保険、賠償責任保険)

送迎サービス補償

(傷害保険)

福祉サービス総合補償

(傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険(オプション))

● このご案内は概要を説明したものです。お申込み、詳しい内容のお問い合わせは、あなたの地域の社会福祉協議会へ ●

団体契約者 社会福祉法人 全国社会福祉協議会

(引受幹事
保険会社) 損害保険ジャパン日本興亜株式会社 医療・福祉開発部 第二課
TEL: 03(3349)5137
受付時間: 平日の9:00～17:00(土日・祝日、12/31～1/3を除きます。)

取扱代理店 株式会社 福祉保険サービス

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
TEL: 03(3581)4667 FAX: 03(3581)4763
営業時間: 平日の9:30～17:30(12/29～1/3を除きます。)
この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。

《講座・研修ご担当者の方へ》

『介護出前講座』のご案内

～介護の専門家があなたの元へお伺いします～

福井県社会福祉協議会では、ボランティア団体、地域のリーダー、企業、入院患者家族などの各年齢層の県民の方を対象に、家庭介護に必要な知識、技術を普及する介護出前講座を無料で実施しています。

「腰痛にならないための体の起こし方」「食事の工夫やお世話のしかた」「排せつのお世話」「認知症の理解と接し方」「介護ストレス解消」などのメニューの中から、ご希望のものを一つお選びいただきお申し込みください。申込書は福井県介護実習・普及センターホームページ<http://kaigo.f-shakyo.or.jp/>からダウンロードできます。

●申込み・問合せ先

福井県介護実習・普及センター

..... ☎ 0776-24-0086

嶺南地域福祉相談・介護実習普及センター

..... ☎ 0770-52-7832



社会福祉事業の発展のために
活用させていただきます。

寄付 ♥ 寄贈

♥ 6月15日(木)

贈呈者 福井県信用金庫協会 様(福井市)

寄付金 ●202,000円(ワンコイン募金運動基金)

●使用済み切手 40kg(約280,000枚)

●書き損じハガキ 202枚

※使用済み切手および書き損じハガキは知的障害者の社会啓発運動および自立支援、生きがいづくり支援事業を行っている団体へ送付

贈呈先 社会福祉法人 福井県社会福祉協議会



福井県信用金庫協会 様

他施設交流が、新たな発想や視点をもたらす！ ～「個人力・チーム力を高めるための実践研修」のご案内～

本研修は、本会会員を対象に、自らが属する施設とは異なる施設で、その対象や業務等を見聞し、実際に関わりを持つことで自らの業務や取り組み姿勢等を振り返り、幅広いものの見方・考え方を深め、キャリアアップを図ることを目的に、平成23年度より実施しています。福祉施設を利用する県民への一層のサービス向上にむけ、本研修をぜひご活用ください。

★研修アウトライン★

【実施期間】 平成29年6月～平成29年12月(7か月間)

【実践研修対象者】 (本会会員)

直接利用者への処遇を行う概ね勤続5年程度の相談員、指導員、介護職員、保育士等

【実践研修の内容等】 ●実践研修の具体的な取り組み例

高齢者、障がい者、児童(乳幼児含む)等に対する介護、介助、話し相手、保育等

●実践研修の期間

連続する概ね3～5日以内(1日あたり概ね7～8時間程度(休憩時間含む))

【申込み受付期限】 実施期間中随時受け付けています。

※本研修の詳細については、
総務施設課 施設サービスグループ
(☎ 0776-24-2347)まで
お問合せください。



この夏、「介護のしごと」を深く知るチャンス!!

参加無料
みなさまのご参加
お待ちしております。

テーマ 「介護から日本を元気に！」

福祉・介護の仕事の魅力とやりがいを知ってもらうとともに、福祉職場への理解や関心を深め
ってもらうことで、将来の福祉人材の掘り起こしを図ること目的に講演会を開催します。

- 日 時** 平成29年7月31日(月)
対象者 一般県民
時 間 10:00 ~ 12:30
会 場 福井県国際交流会館(福井市宝永3-1-1)
講 師 左 敬真 氏(㈱ いきいきらいふ 代表取締役会長)
問合せ先 人材研修課 人材グループ ☎0776-21-2294



「ボランティアコーディネーター資質向上研修会」のご案内

～コーディネート力の「筋トレ」 やります！～

ボランティア活動の受入れやコーディネートをするなかで、活動希望者の思いにマッチング
できたのか、と悩まれた経験はございませんか？この研修で、アセスメント&コーディネート
力をアップさせましょう！



- 日 時** 平成29年8月8日(火) 10:10 ~ 16:00
会 場 FBC福井放送 本社6階ホール
対 象 市町社協、社会福祉施設、NPO、Fバネット会員企業等
講 師 京都光華女子大学医療福祉学科社会福祉専攻 南多 恵子 氏
問合せ先 福井県ボランティアセンター ☎0776-24-4987

参加費無料！
詳しくは、ホームページで。

福井県ボランティアセンター 🔍

ラジオ放送講座「いきいきセミナー」第1回公開スクーリングのご案内

テーマ 「歴史に学ぶ これからの生き方・暮らし方」

今から150年前の激動の時代の福井の歴史・風土・文化・経済・産業・人々の暮らしなどから、福井が持
つ地域特性の強み、魅力、生き方等を学びます。

- 日 時** 平成29年9月16日(土) 13:30 ~ 15:00
講 師 福井県立大学地域経済研究所長・教授 博士(経済学) 南保 勝 氏
会 場 勝山市教育会館3階「第1研修室」(勝山市元町1-5-6)
対 象 一般県民およびラジオ放送講座受講生 100名
申込先 福井県社会福祉協議会ホームページからチラシをダウンロードし、必要事項をご記入の上、地域福祉課まで
FAX・メールをお送りください。電話の場合は、氏名・年齢・連絡先等をお伝えください。

入場無料

- ホームページ : <http://www.f-shakyo.or.jp/>
● TEL : 0776-24-2433 ● FAX : 0776-24-0063 ● Eメール : sukoyaka@f-shakyo.or.jp

お詫びと訂正

- 5月号(第424号)の賛助会員名簿に以下の誤りがありましたので、お詫びして訂正いたします。
【誤】社団法人 福井県ビルメンテナンス協会 → 【正】公益社団法人 福井県ビルメンテナンス協会

平成28年度 事業・決算報告

本会では、「誰もが身近な地域で その人らしく 安心して暮らせる 福祉社会の実現」に向け、「第4次ふくい地域福祉プラン21(推進期間:平成27年度～平成31年度)」に基づく事業活動に加え、地域の支え合い基盤や災害時のネットワークづくりなど時宜の課題にも積極的に取り組んだ。主な事業の概要は以下のとおり。

I 福祉力を育むまちづくり

1 地域で包み支え合う福祉社会を実現する環境づくり

- ◆ご近所拠点づくり推進モデル事業
〔モデル指定地区〕大野市、坂井市、美浜町
- ◆介護実習・普及センター事業
 - ①家庭介護、介護出前講座の実施
 - ②「介護の日(11/11)」イベントの実施
 - ③学校関係への出張授業
- ◆「つながれボランティアの輪」推進運動(7～11月)
 - ①サマーボランティア体験事業(7～9月)の実施
 - ②ボランティア作文コンクールの実施
 - ③エコキャップアート展示会の開催
- ◆福井県まごころ基金助成事業の実施
- ◆地域ぐるみ福祉教育推進事業の実施
- ◆第63回福井県社会福祉大会の開催
- ◆各種の協賛事業を通じた福祉活動の普及啓発
 - ①第5回ふくいチャリティアート展の開催
 - ②福祉サービス車両購入助成事業

2 社協のネットワーク機能を活かした地域福祉の推進

- ◆ご近所拠点づくり推進モデル事業(再掲)
- ◆関係機関との連携・協働
 - ①福井県民生委員児童委員協議会の支援および民生委員児童委員活動との連携
 - ②福井県企業等ボランティア・社会貢献連絡会への支援
- ◆市町村協との協働
 - ①県市町村社協会長会の運営と活動支援
 - ②市町村社協課題解決戦略会議(事務局長会議)の開催
 - ③市町村社協トップセミナーの開催
 - ④社協ワーカー養成研修(基礎、実践力強化)の実施
 - ⑤ボランティアコーディネーション力3級検定の実施
 - ⑥市町村社協ステップアップミーティングの開催
 - ⑦「社協による地域福祉推進研究会」の設置・運営

II 福祉力を支える人づくり

1 福祉人材の確保・定着とスキルアップへの支援

- ◆介護人材確保定着総合推進事業
 - ①専門員による事業所訪問
 - ②求職相談窓口の設置
 - ③介護事業所・人材マネジメントセミナーの開催
 - ④「福祉・介護の仕事PR隊」の派遣
- ◆学校訪問・介護現場体験事業
 - ①福祉・介護の仕事説明会、介護事業所見学・職場体験の実施
 - ②高校生介護職場体験の実施
- ◆ふくい福祉就職フェア等の実施
- ◆福祉人材無料職業紹介事業の実施
- ◆福祉の入門教室の実施
- ◆福祉職員を対象とした研修事業
 - ①生涯(キャリアパス)研修、専門課題別研修、業種・職種別研修の開催

2 地域を支える地域福祉人材の発掘・養成と活動への支援

- ◆明るい長寿社会づくり推進事業
 - ①「ふくい健康長寿祭2016」の開催
 - ②「第29回全国健康福祉祭ながさき大会」への選手派遣
 - ③広報紙「福悠人」の発行
 - ④ラジオ放送講座「いきいきセミナー」の実施
 - ⑤アクティブ・シニア養成講座の実施

III 福祉力を活かすシステムづくり

1 県民一人ひとりの自立した暮らしを守る新たなセーフティネット体制づくり

- ◆「地域で支えるセーフティネットづくり勉強会」の開催
- ◆生活福祉資金貸付事業の実施
- ◆福祉サービス苦情解決事業の実施
- ◆日常生活自立支援事業の実施
- ◆高齢者権利擁護推進事業の実施
- ◆市民後見人養成講座(入門編・実践編)の開催

2 社会福祉法人の適正な経営と地域貢献活動を支える取り組みの強化

- ◆ご福祉施設経営指導事業の実施(巡回訪問、研修の開催等)
- ◆介護サービス情報の公表事業の実施
- ◆福祉サービス第三者評価事業の実施
- ◆地域密着型サービス外部評価事業
- ◆民間社会福祉施設職員退職共済事業の実施

IV 福祉力を動かす組織づくり

1 災害時に備えた危機管理体制の強化

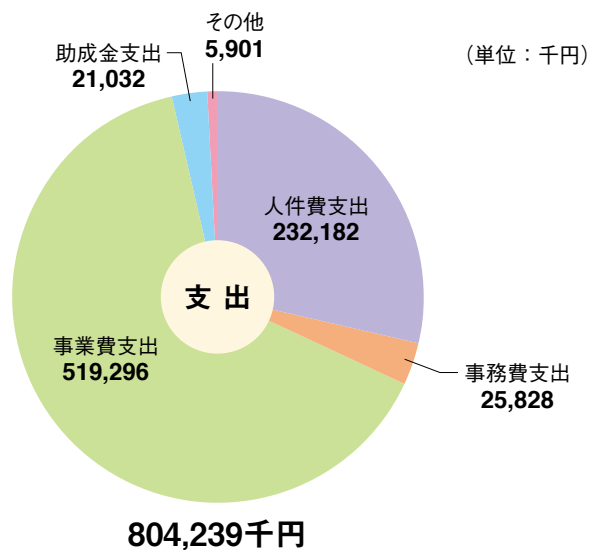
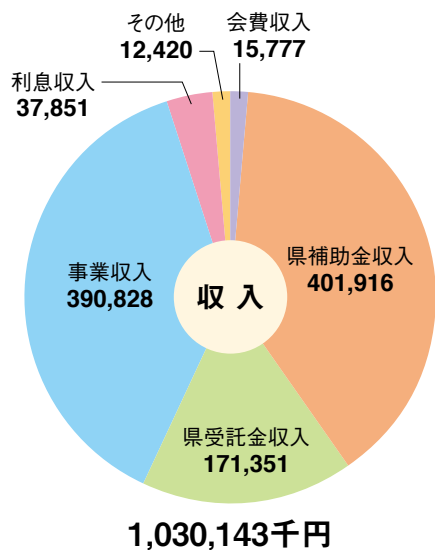
- ◆社会福祉施設における災害対策支援プログラムの推進
 - ①災害に強い福祉施設づくりのための経営者セミナーの開催
 - ②福祉施設防災マネジャー養成研修の開催
 - ③災害時応援協定に基づく代表者、事務局会議の開催

2 地域福祉を総合的に推進する福井県社協の組織経営基盤の強化

- ◆役員会等(理事会、評議員会、正副会長会、監事監査)の開催
- ◆各種基金(5基金)の運用
- ◆職員の資質・専門性の向上
 - ①職場研修制度に基づく職員のスキルアップ
- ◆職員業務・育成支援システムの運用

平成28年度収支決算の概要

※ 経常的な事業活動の収支状況



平成28年度決算による福井県社会福祉協議会の経常的な事業活動のための収支状況について、その概要(イメージ)をご理解いただくためにグラフとして表現したものです。

任期満了に伴う福井県社協役員の改選 清川忠会長が再任

会長就任(再任)にあたって
福井県社会福祉協議会 会長
清 川 忠

この度、6期目の会長を務めさせていただくこととなり、改めて、与えられた使命とその責任の大きさを強く感じているところです。

さて、今日、地域社会にあっては、複雑で多様な課題を抱える人々が増加しています。経済的困窮や社会的孤立状態にある生活困窮者の増加や、深刻化する子どもの貧困、認知症高齢者の増加等、いずれも取り組むべき大きな課題となっています。

こうした中、本会では「つないでキラリ☆まち・ひと・えがお。」をコーポレートスローガンに、中期計画である「第4次ふくい地域福祉プラン21」に基づく事業活動を展開し、今日的な地域福祉の課題に対応していくため、改めて社会福祉協議会がもつネットワークを活かした「支え合いの風土づくり」、「地域ぐるみの福祉活動」を主な柱とする地域福祉事業や活動の強化に向けた取り組みを推進していく所存であります。

今後とも、多くの関係者の方々や県民の皆様の信頼と期待に応え得る、機動性・柔軟性をもった組織づくりをめざし、役職員一丸となって実践に取り組んでまいりますので、変わらぬご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



福井県社会福祉協議会新役員一覧

本会の役員の任期満了に伴い、今期の役員に次の皆様に就任いただきましたのでご紹介します。

(敬称略)

No.	役 職	氏 名	母体役職等	区分
1	会 長	清川 忠	福井商工会議所副会頭	学識経験等
2	副会長	齋藤多久馬	鯖江市社会福祉協議会長	社 協
3	副会長	伊藤 靖朗	青少年育成福井県民会議副会長	学識経験等
4	副会長	小藤 幸男	福井放送(株)代表取締役会長	学識経験等
5	専務理事	高松 康二	福井県健康福祉部参与	学識経験等
6	理 事	前川 徹	福井県民間保育園連盟会長	社会福祉施設
7	理 事	皆川 恭英	福井県老人福祉施設協議会長	社会福祉施設
8	理 事	大島 友治	福井県民生委員児童委員協議会長	民生委員児童委員
9	理 事	吉田 敏貢	福井市社会福祉協議会長	社 協
10	理 事	山岸 博之	小浜市社会福祉協議会理事長	社 協
11	理 事	金森 関治	大野市社会福祉協議会長	社 協
12	理 事	佐野 慎治	(株)福井銀行取締役兼常務執行役	学識経験等
13	理 事	櫻本 宏	福井県健康福祉部長	学識経験等
14	理 事	くどん 瞿曇 隆子	福井県母子寡婦福祉連合会長	学識経験等
15	理 事	八十島幸雄	福井県老人クラブ連合会長	学識経験等
16	監 事	打方 勇治	山崎総合事務所会計部部長	学識経験等
17	監 事	西村 重稀	仁愛大学名誉教授	学識経験等

[任期] 平成29年6月27日から平成31年度定時評議員会の終結時まで

退任のお知らせ

9期17年の永きにわたり本会副会長を務められた村上哲雄氏が今期をもって退任され、平成29年6月27日に開催された定時評議員会にて、清川会長より感謝状が渡されました。

